

公表:令和 1年 11月 25日

事業所名 トータルサポートえん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数を確保している
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			対応可能な限りのバリアフリーは行っている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			清潔で、心地よく過ごせる環境に努めている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティング、毎月の各委員会で確認している
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表を全保護者様に配布し調査を実施し、業務改善につなげている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価においては今後、検討する
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修以外にも外部研修にも積極的に参加している
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			児童の日々の様子や保護者のニーズ課題を分析して個別支援計画書を作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを全児童には使用できていない 今後は標準化されたツールや児童の適性に応じたツールを使用しアセスメントから計画に繋げていく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援・家族支援・地域支援にて具体的に支援内容を設定している

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画に沿った支援に努めている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間行事委員を主とし、計画・日々のミーティングで意見を出し合い決定している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的に行う固定プログラムの他に、季節に合わせたイベント等も取り入れている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			お子様の特性に合わせ、個別支援と集団支援を組み合わせ合わせたプログラムを提供している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングで支援の内容や役割分担について確認をしている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には当日の振り返りを行い支援に繋げられるように努力している
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を付けることでモニタリングや支援計画に繋げている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に支援の振り返りや今後の課題について保護者と確認、見直しを行い、職員周知もしている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や担当職員が参画している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関と情報交換をし連携に努めている
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当なし→医療的ケア 重症心身障害のお子様に対しては保護者様から情報をいただき支援に繋げている
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		送迎時や電話・保護者を通じて、情報交換をしている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			児童館に行き交流する機会を設けている

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			研修に参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡、個別の連絡ノート等でお子様の現状や課題について情報交換し支援に繋がるよう努めている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			ご家庭での対処方法などをヒアリングし、助言や改善方法等をお伝えしている
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約書・重要事項説明書に沿って説明を行い、同意を得ている
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			個別支援計画の内容の説明を行い、保護者から同意を得ている
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的ではないが保護者様の抱えておられる悩みやご相談には、適時応じている
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在はできていないが、今後は親子参加型のイベントや茶話会などを開催予定している
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様からの申し入れやご相談には、適時応じている
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、会報を発行しイベントは号外にて発行している
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			契約時に、個人情報の使用方法などを説明・確認し同意を得ている
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者様には連絡ノートや活動の記録で内容や様子をお伝えしている 言葉での伝達が苦手の児童に対しては、実物や写真・絵カードを用いて情報伝達が出来るよう配慮している
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は出来ていない 今後は地域の行事への参加やボランティアなどを通じ、地域交流を図っていく
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間の避難訓練計画を作成している 災害時に迅速な対応が出来るよう避難訓練は月1回定期的に行っている
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか			○	契約時に服薬・てんかん発作当の情報収集は行っているが予防接種の情報は確認できていないので、今後は情報収集の項目に追加していく

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		現在該当者はいない アレルギーの有無については、契約時に情報を収集し職員間で共有している 医師の指示がある場合には、指示書や保護者からの情報に基づいて対応していく
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、全職員が情報共有している
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを作成し、事業所内に虐待防止責任者を配置し、責任者は外部研修に参加している
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束マニュアルを作成している 契約時に重要事項説明書にて、身体拘束についての説明を行い、やむを得ず行わなければならない場面があった際には、保護者様に事前の説明と至った経緯・拘束行為の説明を行い記録に残していく

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。